

地熱・バイオマス資源を活用する低コスト低炭素化水素製造実証プラント の性能検証に協力します

当社、グループ子会社である大分地熱開発株式会社（以下、大分地熱開発）は2013年の設立以来、九州地区において地熱発電を中心とした再生可能エネルギーの開発と、自社での発電事業に取り組んでまいりました。

この度、環境省が公募した「令和2年度CO₂排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」の事業者に選定された清水建設株式会社様よりご提案を受け、地域のご協力のもと大分地熱開発が大分県玖珠郡九重町野上の野矢地区で開削した地熱井と周辺用地を活用し、「地熱・バイオマス資源を活用する低コスト低炭素化水素製造実証プラント」の性能検証がスタートします。大分地熱開発は、本性能検証を進めるにあたり、プラント建設用地の転貸と地熱蒸気の供給、および地域との調整の役割を担います。

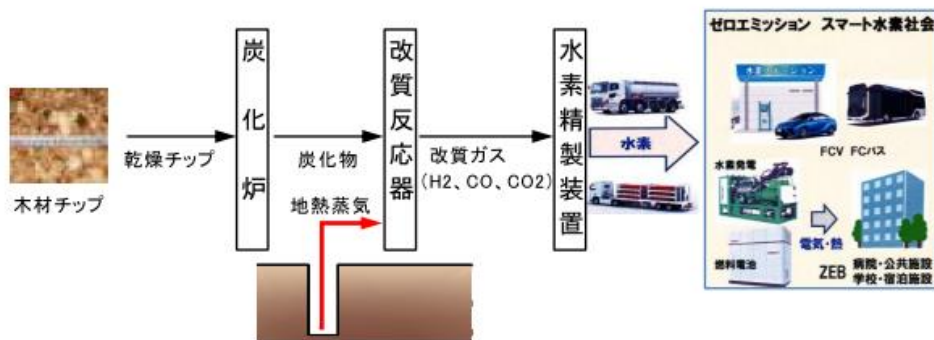


図1 低コスト低炭素化水素製造プラントの仕組み

本性能検証は、木材チップの炭化物に地熱井からの蒸気を混合して水素を多く含んだ改質ガスを生成し、高純度の水素を抽出するものです。将来的には、実用プラントで水素を生産して、利用施設や水素ステーション、半導体工場などに提供することを目指しています。

当社および大分地熱開発は、今後も再生可能エネルギー分野のノウハウを蓄積しながら、事業展開を通して、持続可能な社会づくりに貢献できるように尽力してまいります。

以上

▶本文中の一部文章と図1の引用元：清水建設様ニュースリリース

『低コスト・グリーン水素製造実証プラントを大分県九重町に建設～地元の地熱と木質バイオマスを活用～』

<本資料に関するお問い合わせ先>
 株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング
 TEL:03-5246-4150
 URL: <http://www.atk-eng.jp/>
 経営管理本部 深澤、太田